



平成27年11月2日(月)発行 【隔月(年6回)発行】

発行部署 : ソリューション営業第2本部ソリューション営業部
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号
電話番号 : 03-5408-4600
発行責任者 : 日高 和重
お問合せ窓口 : 石山 義裕

第120号

【目次】

1. 「菱丸」進水式と就航
2. 厚労省 カゴ車使用時の労災防止マニュアル作成について
3. ディーゼル重量車の排出ガス規制強化について
4. 新組織紹介 ~タンク営業部~
5. 場所紹介 ~福岡営業所(福岡県福岡市)の巻~
6. ロジスティクスソリューションフェア2015 参加レポート
7. 物流改善に関するセミナー 参加レポート



1. 「菱丸」進水式と就航

当社は、新たな内航ケミカルタンカーとして「菱丸」を建造しました。8月5日に香川県丸亀市で船主をはじめとして、建造に携わった多くの関係方々、そして当社社長の石川をはじめ、関係者が出席し、猛暑の中、進水式が執り行われました。

一般の新造船「菱丸」は、「第5伸正丸」の後継船で、輸送品質及び安全性を向上させた仕様が特徴となっております。その主な特徴は、以下の通りです。

①加温ができる熱媒や蒸気発生設備を装備

②タンクには、腐食に強い耐性を持つステンレススチール316L鋼を採用

③空気との接触を防止するため、窒素発生装置を装備

④貨物のコンタミネーション防止や荷役作業性を向上させるため、タンク毎にポンプを装備
更には、省エネ装置である「フレンドフィン」※を搭載し、推進効率を向上させるなどした最新鋭船として建造しております。

主に親会社である三菱化学社の石油化学製品を輸送する船として運航する予定ですが、輸送品質、安全性を向上させた事により、特殊ケミカル製品も取り扱うことが出来るようになります。

進水式後は内部の艀装工事が進められ、また同時に船員への教育に取り組み、10月31日から就航する予定となっております。

※フレンドフィン : 船のプロペラ前方の船尾にフィン(翼)を取り付け、後方に発生する回転流を減少させ、推進効率を向上させる装置



【進水式】

2. 厚労省 カゴ車使用時の労災防止マニュアル作成について

厚生労働省と独立行政法人である労働安全衛生総合研究所は、ロールボックスパレット(カゴ車)使用時における労働災害防止マニュアルを作成し、9月28日に発表しました。

ロールボックスパレットは開口部以外の3面がパネルで囲まれたキャスター付の人力運搬機で、利便性が高く、スーパーマーケットなどの店舗で見かけられたことがあるのではと思います。

マニュアル作成に至った背景は、近年労働災害が多数発生しており(図1参照)、傾向としてケガをされた半数近くの方が作業経験1年未満ということで、作業に不慣れな時期での対策がカギとなるからです。

当該マニュアルではロールパレット使用時に守ってほしい下記ケースでの「8つのルール」が紹介されています。

1. 段差、傾斜のある場所での取扱い
2. 作業服、作業靴、保護具について
3. 使用における遵守、注意、禁止事項
4. 基本操作
5. 複数人での取扱い
6. 荷物の積載
7. 折りたたみ、組み立て、積み重ねについて
8. テールゲートリフターでの取扱い

協力会社を含め当社も色々な場面でロールボックスパレットを使用しており、注意喚起して参りますが、皆様におかれましても工場や倉庫で使用されている場合は、是非参考にしていただければと思います。

※マニュアル : <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11300000-Roudoukijunkyokuanzeniseibu/0000098499.pdf>

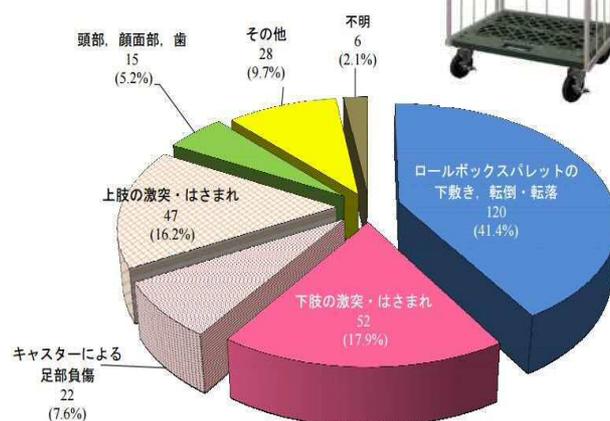


図1: ロールボックスパレットに起因する災害の5パターン
出所) 労働安全衛生総合研究所

3. ディーゼル重量車の排出ガス規制強化について

9月18日に米環境保護局が公表した独大手自動車メーカーの不正問題は、直ちに世界中のメディアで大きく取り上げられました。不正の概要は、ディーゼル車の排出ガス規制をクリアするため、違法な制御ソフトを搭載していたというものでした。これにより当該メーカーは賠償金等の莫大な費用負担が確実となり、存立を危ぶむ声すら聞こえています。更に影響は各国の株式市場へ及ぶと共に、排出ガス試験法の見直し・厳格化にまで波及しました。

一方、国内ではディーゼル重量車及び二輪車の排出ガス規制を強化するため、道路運送車両の保安基準等の改正が行われ、7月1日に公布・施行されています。

ディーゼル重量車に関する主な改正内容

1. 排出ガス中に含まれる窒素酸化物(NOx)の規制強化
2. 排出ガス試験モード等について、世界統一技術基準の試験モードを導入
3. 試験サイクル外の排出ガスに対して、世界統一基準による規制の新設
4. 車載式故障診断装置の高度化

規制物質	平成21年排出ガス規制 (ポスト新長期規制)		平成28年排出ガス規制 (2016年規制)	
	試験モード	規制値【g/kWh】	試験モード	規制値【g/kWh】
一酸化炭素(CO)	JE05モード	2.22 (2.95)	WHDC	2.22 (2.95)
非メタン炭化水素 (NMHC)		0.17 (0.23)		0.17 (0.23)
窒素酸化物(NOx)		0.7 (0.9)		0.4 (0.7)
粒子状物質(PM)		0.010 (0.013)		0.010 (0.013)

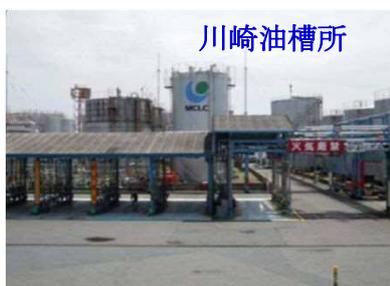
出所) 国土交通省 報道発表資料
※規制値欄: 平均値(最大値)

今回の改正は前述の不正問題を受けたものではありませんが、国交省では2018年までに予定していた乗用車への不正ソフト搭載禁止の前倒しを含め、検査体制の見直しを進める方針です。先般の不正問題を引き金にしたディーゼル車の排出ガス規制動向については、今後の成り行きが注目されます。

4. 新組織紹介 ~タンク営業部~

新生「タンク営業部」は、2015年4月1日付の当社組織改正により発足致しました。当社は、川崎に36基及び尼崎に38基、更には全国各地の外部タンクを含めたタンク賃貸を提供し、お客様のニーズに合わせた品質の維持を図り、効率的な輸送を含めた実現をご提案致します。お客様の製品にあったタンク材質(SUS製)へ強化、温度管理等を含めたタンク需要に対応できる設備の増強を図りながら、最近では、タンクのみならずISOコンテナの対応も出来るマルチワークステーション等の提案も行っております。現在、当社が培ってきたノウハウを最大限に活かし、化学品(Liquid Cargo)のスペシャリストとして、全国ネットを利用した高品質なサービスの提案を致します。

<当社両油槽所>



5. 場所紹介 ~福岡営業所(福岡県福岡市)の巻~

本年4月1日より新たに当社の拠点として、福岡営業所が発足しました。執務場所は、「ふくぎん博多ビル8階」の三菱ケミカルホールディングス九州支社共同オフィスで、営業所員3名が常駐、黒崎支社包装・資材部からの兼務者3名を加えて6名体制で包装・資材の外販営業に日々邁進しています。

ふくぎん博多ビルは市営地下鉄「中洲川端」駅に直結し、博多座、川端商店街に隣接しており、更に、ビルの前には「オッペケペー」で有名な川上音二郎氏の銅像があり記念撮影のスポットです。川端商店街はアーケードになっており天候に左右されず買い物を楽しんだり、ぶらり散策するにはお勧めの場所です。博多はちょっと遠すぎる・・・と思っているあなたを、これから、川端商店街散策のご案内します。この商店街は約100軒の老舗と新しい店とがうまく融合しており、飲食店、用品店、八百屋、魚屋等々、数多くの店が並んでおり、八百屋や魚屋では店の食材を使った料理を店内で頂くこともできます。商店街は日本語、韓国語、中国語の表記がされており、まさにアジアと日本の接点であることを肌で感じられます。博多で祭りと言えば「博多祇園山笠」ですが、川端商店街は毎年7月1日から7月15日まで祭り一色です。15日早朝04:59の櫛田神社への追い山で祭りはピークに達し、全国から観光客も博多に押し寄せ、九州各地から博多への早朝臨時列車も運行されるほどです。少し小腹がすいてきましたので、甘味処のご紹介を。博多の3大名物と言えば、「辛子めんたいこ」「水炊き」「川端ぜんざい」です。川端商店街の散策での疲れを吹き飛ばすには、川端ぜんざい広場で飾り山笠(写真右)と那珂川を見ながら「川端ぜんざい」(写真左)をご賞味下さい。かき氷もフワフワで人気商品です。大正初期の開店以来、日本一甘いぜんざいの店として評判になり、1985年に一旦閉店、その後商店街の協力の下1994年川端ぜんざい広場として復活。「川端ぜんざい」は、金・土・日・祝日及び祭りなどのイベント時のみの営業ですが、川端ぜんざい広場は毎日気軽に立ち寄ることができる博多っ子の癒しの空間です。



【川端ぜんざい】



【飾り山笠】

6. ロジスティクスソリューションフェア2015 参加レポート

2015年9月8日～9月9日の2日間、東京ビッグサイトにて開催されたJILS(日本ロジスティクスシステム協会)主催『ロジスティクスソリューションフェア2015』に参加しました。

この催しは、「持続可能な発展を目指して」をテーマに開催され、ロジスティクスの高度化・効率化に関する物流機器からシステム・仕組み構築、効率化ツール等の多種多様な製品やサービスについて計117社が展示コーナーを設置しておりました。

今回の展示会で興味深かったのは、ピッキング時にハンディターミナルをグローブに装着しハンドフリーにしたり、作業員に次のピッキング場所までの最短ルートを音声で教えてくれたり、スマートグラスを用いてピッキングの作業指示を表示させたりなど倉庫作業での効率化並びに管理面強化に重点をおいた製品が多く見られたことです。その背景には通販等のB to C市場で、製品をユーザーへ短期間で配達するサービスの需要が高まり、各企業で、製品・サービスの開発が一層進んでいることがあるようです。

このような展示会に参加すると、技術の進歩の速さに驚かされます。当社としても、お客様にご提案するソリューションの質やスピードの更なる向上といったことに繋がられるよう、最新技術の動向や情報の収集に努めてまいります。



7. 物流改善に関するセミナー 参加レポート

2015年8月、A社で開催された「物流改善に関するセミナー」に参加しました。このセミナーでは、基調講演と物流に関する課題解決のための改善ポイントとツールの紹介をするプレゼンテーションが行われました。セミナーには、100名程の参加者があり、皆、真剣に聴講していました。

プレゼンテーションの内容は、①ピッキング作業効率を改善する、②物流現場作業員の生産性を可視化し、作業員数の算出や要員配置、改善効果の算出をする
③普段の運転状況を把握し、危険運転パターンを抽出、運転指導を通して事故を削減する をテーマにしたものでした。

課題解決のための新たな解析手法に繋がる内容はありませんでしたが、紹介された改善ポイントは効率化の切り口として活用できるものでした。今後も新たな発見や新しい情報を収集し、お客様の要望に沿うような効率化の提案ができるように取り組んでいきたいと思っております。



編集後記

ソリューション営業部 和田

私は、当号2面記事の「マニュアル」を通して、ふと思うことがありました。昨今の出来事を見ると、火山噴火やこれまでに経験したことのないような大雨による災害といった事が続いているように感じます。災害はいつどこで起こるか分かりません。国や各自治体、企業等で様々な災害時の対応マニュアルといったものが作成されており、最近、私の住む町にも防災の本が配られました。でも、一度も開いていないなあ。

人は兎角、悪いことは他人事のように考えがちです。「まさか自分が・・・」という時に、慌てずに対処できるようにしたいものです。災害に限らず、事故でも同じです。これを機にまず私は、防災の本が届いているので少しでも読んでみようと思いました。皆様の中でも、何か気になる事がありましたら、これを機に確認や行動をされてはいかがでしょうか。